

日本共産党の斉藤由美子です。

議第79号、高規格救急自動車の購入について質問をいたします。

本案では、大分トヨタ自動車株式会社から、高規格救急自動車2台を、6,188万4千円で購入しようとするものです。

以前、2回の高規格救急自動車購入の際、高額車輛の購入について、応札が1社のみだったことから、わが党は競争性の確保について、見解を求めて参りました。

昨年の高規格救急自動車の購入時にも質問を行い、「日産とトヨタしか製造してないと聞いている。日産の販売店が、トヨタ車を売ることは考えにくい。取り扱い業者を増やしたとしても、結局2社の系列の中でしか、受注が広がらないことになる。今後の見通しとして、競争入札ができる販売店をふやすこと。また、全国的な連携により、適正な価格で販売ができるよう、対策をとっていくこと」を要望して参りました。

今回の応札については、2社と聞いておりますが、発注については、参考見積の比較で59万7千円安いことから、救急車両と資機材を一括発注しています。

わが党は、公共工事などの発注については可能な限り分割し、地元の中小企業や業者が受注できる機会を増やすよう求めています。救急車両と資機材の分割発注についても同様のことが言えると思います。

そこで質問致します。競争性の確保と共に、可能な限り多くの事業者を受注の機会を確保することも重要と考えますが、この点についての見解を求めます。